

2023 DISCLOSURE

The first half of the year

2023年度上半期 業績のご報告



ゆきぐに信用組合

理事長あいさつ



ゆきぐに信用組合

理事長 小野澤 一成



これからの時代は、「大きくて強いもの」が生き残るのではなく、「小さくてシナヤカな（変化に対応する）もの」の時代と宣言してきました。

これは、価値の変化はもうすでに始まっていて、それに対応するために先を見込んだ、組織体の変化を手掛けているかどうか、人財教育に新方式を取り入れているかどうか、「旧態依然」のまま放置していないか、ということなどを問いかけたものでした。

“新しい資本主義”のグランドデザインが描く「人的資本」など非財務情報の開示を強化することは、企業の社会的価値を高めると同時に、企業戦略としての本筋の強化を意味しています。

『人的資本』は企業の人材をその知識や技能、能力資質などが付加価値を生み出す『資本』と見なして投資対象とする考え方で、急激なビジネス環境の変化に伴い重要度が増すことは確実であります。

当組合は、お蔭様で、他の金融機関、金融庁、財務局、その他専門家と言われる方々とつながっています。それらは他の信用組合や信用金庫と異なるところであり、当組合ならではの“優位性”と言えます。

この優位性のおかげで、マスコミからも注目され、TVや新聞雑誌に取り上げられ、それがまた新たな関係性を広げています。

当組合の金融規模は“小さい”がしかし、人脈と人的交流は他に引けを取りません。新たな関係性もまだまだ“拡大発展中”であります。

当組合は今までも“人的資本”強化のために職員を『理事長講演会』等へ同行させ、職員はその訪問の機会を『百聞は一見に如かず』として自己の成長につなげてきました。

今までも『1 on 1』や『心理的安全性』『ノルマ廃止』『360度人事評価』『顧客感動』『SDGs』『ウェルビーイング』などを積極的に導入し、その定着のために十分に時間をかけて取組んできました。

若手の人財も確実に育ってきています。この地域に貢献できる人財の育成に時間と労力と費用を惜しまずにかけていく方針とします。

以 上





● 2023年度「半期」事業報告

(2023年10月4日)

(自：2023年4月1日～至：2023年9月30日)

1. 事業の概況

4月3日(月)は、『70周年セレモニー』を全店で実施、お楽しみ抽選会と思い出をお客様から記入していただいた「記念ツリー」は見事に満開になりました。

4月12日(水)は、『不祥事件撲滅の日』全員で宣誓書にサインしました。

4月13日(木)は、全店営業車両20台を一堂に集めて、『安全運転宣言』と車両点検、もしも事故に遭遇した時の対応等を学びました。当組合の営業職員は「子どもやお年寄りの安全見守り機能」を担っている事を全員で確認しました。

4月14日(金)は1都9県の全金融機関を監督する「関東財務局」から局長がトップヒアリングにお越しくださいました。

4月15日(土)「石打信栄会40周年式典並びに祝賀会」が湯沢の「いなもと」にて、林南魚沼市長、田村湯沢町長、塩沢、湯沢町商工会長らを来賓にお迎えして盛大に開催されました。

4月30日(日)に「入組式」として保護者同席のもとで実施しました。

当組合では5月8日(月)から、全員がマスクを外し、アクリル板も撤去しました。来店されたお客様の反応は、声が聞こえやすくなって良かった。顔の表情が見えて安心すると言われています。

5月16日(火)は、県の環境局長、津南町長ら来賓をお迎えし、地元提携建築業者と共に、「新潟県版雪国型ZEH」の普及と「子育て応援」の促進大会を開催しました。TV2社、新聞7社の計9社のマスコミから取材を受けました。

5月22日と23日に「京都産業大学」にて理事長講演会を実施しました。

6月22日(木)の「通常総代会」は、全議案とも賛成多数にて可決承認していただきました。新たに選任された「理事8名」は、2025年6月までの任期「2年」となります。「監事3名」は、2026年6月までの任期「3年」となります。任期期間中全身全霊をもって任務に邁進することを全員で確認しました。

70周年記念「青山学院大学・原晋氏」の「特別講演会」は、大盛況でした。翌朝のNHKニュースで放送され米俵のリレーが良かったなどと大勢の方から喜んでいただきました。

7月7日(金)「第2回・地域同期会」を5か所の会場で同時に開催、全会場をオンラインでつなぎ、参加者は51社から計106人でした。若手社員の離職を防ぎ、地元若者が定着してくれることを目的に実施しました。参加者からは継続開催の要望が強く、早々に次回の開催を予定します。

7月21日(金)に地域と一体となった「防災訓練」「救命救急訓練」「消火訓練」を実施しました。当組合には「停電時電源装置」が全部店に完備されており、いざという時には、地域の避難所として機能するべく、毎年、地域と一緒に「防災訓練」を実施しております。

この夏の暑さは異常です。台風6号と7号による被害も出ており、海の向こう側でも「大規模火災」や「高温被害」が出ております。災害に強い「地域」づくりが求められております。職員一人一人が防災意識を持ち、緊急的な連絡網の確認も行いました。

8月6日(日)「はばたき奨学金」で支援する高校生を対象に「思い出づくり日帰りバスツアー」を実施、奨学生とその家族の計26人が参加しました。

8月20日(日)「地元企業見学ツアー」をゆきぐにの未来基金の奨学生とその卒業生を加えて将来の職業選択の視野を広げることを目的に実施しました。

8月28日から9月1日まで「京都産業大学」の学生5人を「インターンシップ」として受入ました。9月4日と5日には「新潟青陵大学」の学生9人と先生2人の計11人を「コミュニティビジネス実習」として受け入れました。

9月4日(月)には、地元警察署と地域住民と一体となって「防犯訓練」「特殊詐欺防止訓練」を実施しました。思わぬ「凶悪犯罪」が白昼堂々で行われる昨今です。職員とお客様の「身の安全」が何より優先することを徹底しました。

いよいよ9月19日に「ゆきぐに信用組合」がスタートしました。全国の銀行信金信組、JA等の中に「ゆきぐに」を名称にしているところはありません。当組合が唯一となります。全国のゆきぐにを代表する金融機関として、ゆきぐにの持つ魅力、豊富な資源等をクローズアップして、雪国のイメージアップを図り、雪国経済圏としての魅力を発信してまいります。

9月19日から21日までの3日間「飛鳥Ⅱチャータークルーズ」を10の信用組合の共催事業として実施しました。約500名のお客様から素晴らしい旅行でしたと大絶賛をいただきました。

9月末「半期決算」については、半年先行管理の自己査定を行いながら取引先の信用状態を少しでも早く察知できるように努力していますが、残念ながら経営破たん陥った貸付先3先の債権処理を実施しました。一緒になって再生に取組み、経営内容が改善した取引先もありますが、対応が間に合わない先もあります。現在は「三か月先の資金繰り」を確認する事で対応しています。

9月19日以降、新たに「小千谷市」と「十日町市」と「長野県栄村」を訪問し行政との包括連携協定を結ぶ予定です。すでに締結している4自治体とともに新たな協体制度を構築する予定です。

この地域に『ゆきぐに信用組合』があつて良かったと多くの方から思っていただけのように、そして“ゆきぐに信組”の組合員であること自体がステータスと感じていただけるように頑張っ参ります。

今期の決算に関して、順調に推移しており、これも偏に総代はじめ組合員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、役員職員一同感謝すると共に、引続きのご支援をお願い申し上げ、半期の『事業報告』といたします。

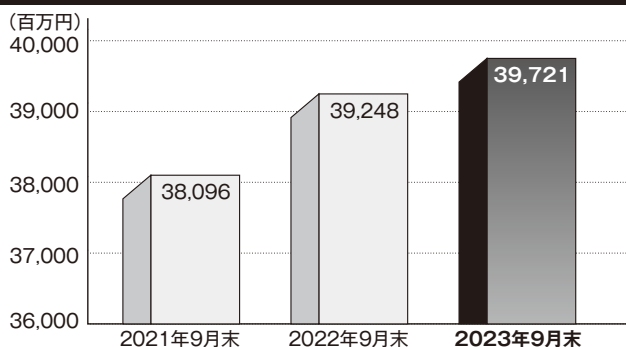
以 上

2023年度「半期決算」の報告

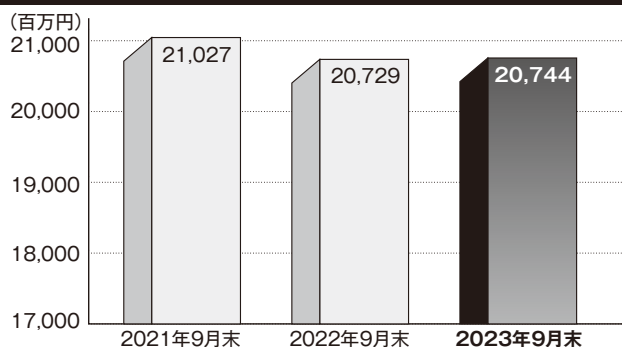
(自：2023年4月1日～至：2023年9月30日)

主要勘定の推移

預積金残高

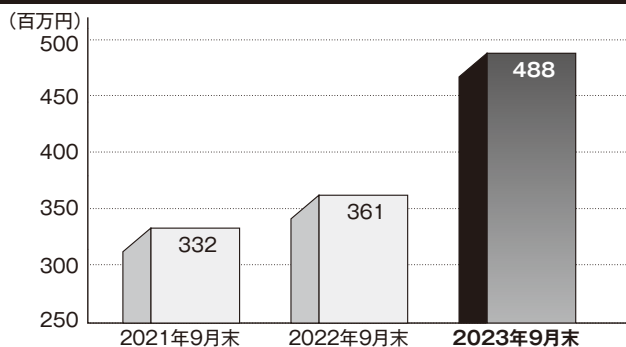


貸出金残高

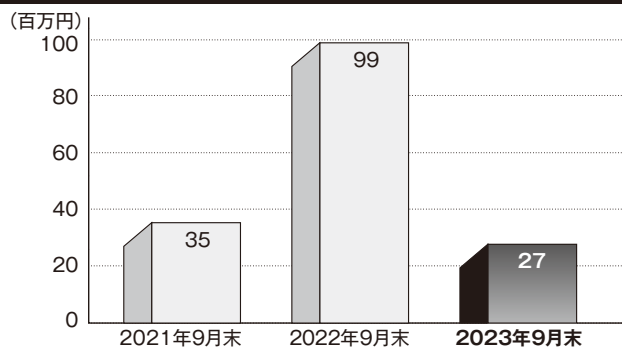


収益等の推移

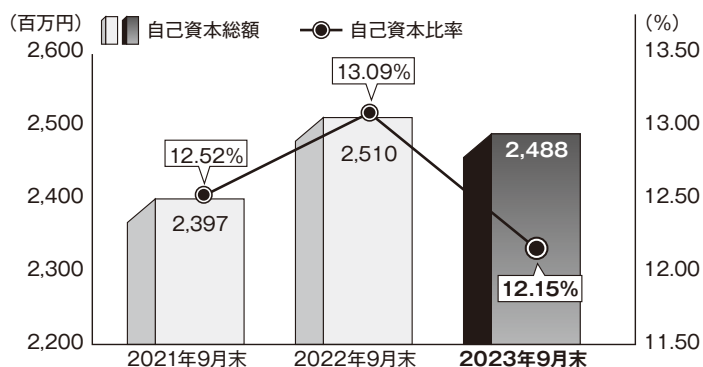
経常収益



当期純利益



自己資本比率・自己資本額の推移



着実な利益計上により自己資本比率12%台を維持

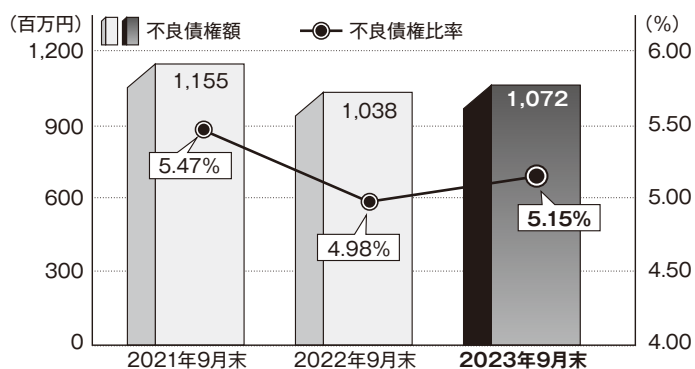
出資金と期中損益が減少しておりますが、自己資本額は若干の減少に留まっております。

預け金や中小企業向け融資の増加により、自己資本比率は前年を下回っておりますが、国内基準である8%を超える十分な水準を維持しております。

※リスクアセット上の自己資本総額となります。

不良債権比率・不良債権額の推移

金融再生法開示債権の推移



融資先の業況悪化防止に向けた取組みを強化

新型コロナウイルス関連融資の元金返済開始に伴い企業の資金繰り悪化が懸念される中、当組合では本業と資金繰りの改善支援に注力しております。

この結果、不良債権額・不良債権比率とも微増に留まっております。



2023年度「半期決算」の報告

(自：2023年4月1日～至：2023年9月30日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2022年9月	(B) 今期予算 2023年9月	(C) 今期実績 2023年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	426	450	318	▲ 132	▲ 108
預 け 金	13,058	13,701	15,404	1,703	2,346
有 価 証 券	7,256	5,600	5,572	▲ 28	▲ 1,684
貸 出 金	20,729	20,940	20,744	▲ 196	15
そ の 他 資 産	249	246	359	113	110
有 形 固 定 資 産	477	467	459	▲ 8	▲ 18
無 形 固 定 資 産	1	4	4	0	3
繰 延 税 金 資 産	9	27	27	0	18
債 務 保 証 見 返	52	48	47	▲ 1	▲ 5
貸 倒 引 当 金	▲ 516	▲ 569	▲ 586	▲ 17	▲ 70
資 産 の 部 合 計	41,744	40,914	42,351	1,437	607

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2022年9月	(B) 今期予算 2023年9月	(C) 今期実績 2023年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	39,248	38,288	39,721	1,433	473
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	77	77	99	22	22
各 種 引 当 金	77	77	89	12	12
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	52	48	47	▲ 1	▲ 5
負 債 の 部 合 計	39,455	38,490	39,957	1,467	502
(純 資 産 の 部)				0	0
出 資 金	400	395	395	0	▲ 5
利 益 剰 余 金	2,046	2,029	2,053	24	7
利 益 準 備 金	399	393	393	0	▲ 6
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,646	1,636	1,659	23	13
当 期 未 処 分 剰 余 金	206	106	130	24	▲ 76
その他有価証券評価差額金	▲ 159	0	▲ 53	▲ 53	106
純 資 産 の 部 合 計	2,288	2,424	2,394	▲ 30	106
負債及び純資産の部合計	41,744	40,914	42,351	1,437	607

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2022年9月	(B) 今期予算 2023年9月	(C) 今期実績 2023年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経 常 収 益	361	433	488	55	127
資 金 運 用 収 益	292	338	415	77	123
貸 出 金 利 息	225	224	219	▲ 5	▲ 6
預 け 金 利 息	6	6	7	1	1
有価証券利息配当金	52	106	179	73	127
その他の受入利息	8	1	8	7	0
役 務 取 引 等 収 益	14	14	14	0	0
そ の 他 業 務 収 益	1	80	58	▲ 22	57
国債等債券売却益	0	79	56	▲ 23	56
その他の業務収益	1	0	1	1	0
そ の 他 経 常 収 益	52	0	0	0	▲ 52
貸倒引当金戻入益	52	0	0	0	▲ 52
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	245	410	440	30	195
資 金 調 達 費 用	4	5	4	▲ 1	0
預 積 金 利 息	4	5	4	▲ 1	0
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	10	10	10	0	0
そ の 他 業 務 費 用	0	128	128	0	128
国債等債券売却損	0	128	127	▲ 1	127
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経 常 費	230	261	269	8	39
人 件 費	135	141	147	6	12
物 件 費	90	114	117	3	27
税 金	4	4	4	0	0
そ の 他 経 常 費 用	0	5	28	23	28
貸倒引当金繰入額	0	5	22	17	22
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	0	0	6	6	6
経 常 利 益	115	23	47	24	▲ 68
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	115	23	47	24	▲ 68
法人税、住民税及び事業税	15	19	19	0	4
法 人 税 等 調 整 額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	99	3	27	24	▲ 72
前 期 繰 越 金	106	103	103	0	▲ 3
当 期 末 処 分 剰 余 金	206	106	130	24	▲ 76



2023年度(2024年3月末)「決算」の見込

(自: 2023年4月1日~至: 2024年3月31日)

資産の部

(金額単位: 百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年3月	(B) 今期予算 2024年3月	(C) 今期見込 2024年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(資 産 の 部)					
現 金	407	450	450	0	43
預 け 金	12,364	13,212	13,165	▲ 47	801
有 価 証 券	7,122	6,497	6,673	176	▲ 449
貸 出 金	20,800	21,110	20,318	▲ 792	▲ 482
そ の 他 資 産	246	246	359	113	113
有 形 固 定 資 産	470	450	459	9	▲ 11
無 形 固 定 資 産	4	4	4	0	0
繰 延 税 金 資 産	27	27	27	0	0
債 務 保 証 見 返	48	48	48	0	0
貸 倒 引 当 金	▲ 564	▲ 532	▲ 539	▲ 7	25
資産の部合計	40,929	41,512	40,964	▲ 548	35

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位: 百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年3月	(B) 今期予算 2024年3月	(C) 今期見込 2024年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	38,330	38,830	38,330	▲ 500	0
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	106	105	105	0	▲ 1
各 種 引 当 金	93	92	92	0	▲ 1
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	48	48	48	0	0
負債の部合計	38,579	39,075	38,575	▲ 500	▲ 4
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	393	393	393	0	0
利 益 剰 余 金	2,037	2,044	2,049	5	12
利 益 準 備 金	399	393	393	0	▲ 6
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,637	1,651	1,656	5	19
当 期 未 処 分 剰 余 金	197	128	133	5	▲ 64
その他有価証券評価差額金	▲ 81	0	▲ 53	▲ 53	28
純資産の部合計	2,349	2,437	2,389	▲ 48	40
負債及び純資産の部合計	40,929	41,512	40,964	▲ 548	35

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年3月	(B) 今期予算 2024年3月	(C) 今期見込 2024年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経 常 収 益	628	728	786	58	158
資 金 運 用 収 益	593	620	699	79	106
貸 出 金 利 息	467	451	442	▲ 9	▲ 25
預 け 金 利 息	12	12	15	3	3
有価証券利息配当金	101	156	233	77	132
その他の受入利息	11	1	9	8	▲ 2
役 務 取 引 等 収 益	29	25	26	1	▲ 3
そ の 他 業 務 収 益	4	83	61	▲ 22	57
国債等債券売却益	0	79	56	▲ 23	56
その他の業務収益	4	4	5	1	1
そ の 他 経 常 収 益	1	0	0	0	▲ 1
貸倒引当金戻入益	1	0	0	0	▲ 1
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	516	691	732	41	216
資 金 調 達 費 用	9	9	9	0	0
預 積 金 利 息	9	9	9	0	0
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	21	21	21	0	0
そ の 他 業 務 費 用	0	128	128	0	128
国債等債券売却損	0	128	128	0	128
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経 費	465	533	534	1	69
人 件 費	273	292	295	3	22
物 件 費	187	236	234	▲ 2	47
税 金	5	5	5	0	0
そ の 他 経 常 費 用	19	0	40	40	21
貸倒引当金繰入額	0	0	29	29	29
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 損	7	0	0	0	▲ 7
その他の経常費用	12	0	11	11	▲ 1
経 常 利 益	112	37	54	17	▲ 58
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	112	37	54	17	▲ 58
法人税、住民税及び事業税	40	12	24	12	▲ 16
法 人 税 等 調 整 額	▲ 19	0	0	0	19
当 期 純 利 益	91	25	30	5	▲ 61
前 期 繰 越 金	106	103	103	0	▲ 3
当 期 未 処 分 剰 余 金	197	128	133	5	▲ 64



金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(金額単位：千円)

区 分	年 度 別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D) = (B) + (C)	保全率 (D) / (A)	貸倒引当金引当率 (C) / ((A) - (B))
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	2021年9月	67,733	18,623	49,110	67,733	100.00 %	100.00 %
	2022年9月	28,818	4,672	24,146	28,818	100.00 %	100.00 %
	2023年9月	87,549	33,373	54,176	87,549	100.00 %	100.00 %
危 険 債 権	2021年9月	691,615	217,097	462,525	679,622	98.27 %	97.47 %
	2022年9月	646,269	211,043	428,448	639,492	98.95 %	98.28 %
	2023年9月	709,670	212,937	489,669	702,606	99.00 %	98.58 %
要 管 理 債 権	2021年9月	395,746	88,712	44,155	132,867	33.57 %	14.38 %
	2022年9月	363,627	83,687	41,067	124,754	34.31 %	11.29 %
	2023年9月	275,738	63,232	26,591	89,823	32.58 %	12.51 %
不 良 債 権 計	2021年9月	1,155,093	324,432	555,790	880,222	76.20 %	66.91 %
	2022年9月	1,038,715	299,403	493,662	793,065	76.35 %	47.52 %
	2023年9月	1,072,957	309,542	570,436	879,978	82.01 %	74.72 %
正 常 債 権	2021年9月	19,953,405					
	2022年9月	19,780,046					
	2023年9月	19,751,677					
合 計	2021年9月	21,108,498					
	2022年9月	20,818,761					
	2023年9月	20,824,635					

(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

不良債権比率

2021年9月	5.47 %
2022年9月	4.98 %
2023年9月	5.15 %

有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的

(金額単位：百万円)

項 目	2022年9月			2023年9月		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が対表を上回るもの	債 券	—	—	100	103	3
	国 債	—	—	100	103	3
	地方債	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—
	その他	100	104	4	—	—
	小 計	100	104	4	100	3
時価が対表を下回るもの	債 券	—	—	302	300	▲ 2
	国 債	—	—	302	300	▲ 2
	地方債	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—
	その他	700	628	▲ 71	700	▲ 101
	小 計	700	628	▲ 71	1,002	▲ 103
合 計	800	733	▲ 66	1,102	1,002	▲ 100

3. 時価評価されていない有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2022年9月 貸借対照表 計上額	2023年9月 貸借対照表 計上額
その他有価証券	15	15
非上場株式	15	15
非上場外国証券	—	—

2. その他有価証券

(金額単位：百万円)

項 目		2022年9月			2023年9月		
		貸 借 対照表 計上額	取得 原価	差額	貸 借 対照表 計上額	取得 原価	差額
貸 借 対 照 表 上 取 得 額 が 減 価 超 える も の	株 式	247	223	23	323	512	189
	債 券	1,087	997	90	200	220	20
	国 債	1,087	997	90	200	220	20
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社 債	－	－	－	－	－	－
	そ の 他	692	571	121	291	372	81
	小 計	2,027	1,792	234	814	1,104	290
貸 借 対 照 表 上 取 得 額 が 減 価 超 え ない も の	株 式	113	124	▲ 10	25	18	▲ 7
	債 券	3,097	3,390	▲ 292	2,594	2,328	▲ 266
	国 債	2,317	2,587	▲ 269	1,791	1,565	▲ 226
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社 債	780	803	▲ 23	803	763	▲ 40
	そ の 他	1,202	1,292	▲ 90	1,076	1,005	▲ 71
	小 計	4,413	4,807	▲ 392	3,695	3,351	▲ 344
合 計		6,440	6,600	▲ 159	4,509	4,455	▲ 54

● 地域貢献に関する情報開示

地域に貢献するゆきしんの経営姿勢

当組合は、2023年9月に定款変更を行い、営業エリアを小千谷市、十日町市の旧松代町、旧松之山町、及び長野県栄村へ拡張しました。「ゆきぐに」地域全体で金融サービスを平等に提供するためです。「ゆきしん」は、地元の中小零細事業者や住民が組合員となってお互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるさめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	2022年9月		2023年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	1,862	9.0	1,962	9.5
建 設 業	1,385	6.7	1,461	7.0
卸 売 ・ 小 売 業	2,570	12.4	2,588	12.5
各 種 サ ー ビ ス 業	4,998	24.0	5,111	24.6
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,548	7.5	1,549	7.5
小 計	12,363	59.6	12,671	61.1
地 方 公 共 団 体	2,914	14.1	2,601	12.5
個 人（住宅・消費・納税資金等）	5,451	26.3	5,471	26.4
合 計	20,729	100.0	20,744	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

中小企業等金融円滑化に関する取組み

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するものであると考えております。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切ります。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終わるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援を信条としております。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援してまいります。

金融機関との付き合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代です。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底してまいります。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

当組合では「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を充分に踏まえ、お客様から借入や保証債務の整理について相談を受けた際には、誠実に対応する態勢を整備しております。

経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人与経営者の関係性や財務状況を把握し、同ガイドラインの内容を踏まえて充分検討するなど、適切な対応に努めております。そのうえで継続的かつ良好な信頼関係の構築と経営改善支援に取り組んでいます。

経営者保証に関するガイドラインの取組み状況	2022年 9月	2023年 9月
新規に無保証で融資した件数 (ABLを活用し無保証で融資したものは除く)	57	82
新規融資に占める経営者保証に依存しない 融資の割合	6.66	8.93
保証契約を解除した件数	2	7
ガイドラインに基づく保証債務整理の 成立件数	0	0

顧客の組織化と活動実績

第2回地域同期会

～若者同士のネットワークづくりを促進～

昨年に引き続き第二回の『地域同期会』を開催いたしました。5つの営業店がそれぞれの会場を設営し、今回は参加企業51社、若者106名が参加しました。グループディスカッションなどを通して、新たなネットワークづくりや雇用定着することを目的とし、交流を図っております。

「地域同期会」を通じて、これからの地元地域を支えていく若者からは普段は聞けない素晴らしい意見を沢山頂きました。

今回は、「若者が理想とする会社」、「地域の魅力づくり」を題材として「雇用定着」の環境づくり、若者が帰ってきたいと思う地域にするために何をすべきかを真剣に議論して頂きました。参加者同士のネットワークも更に広がり、非常に価値のある同期会となっております。



ディスカッションの結果

【理想の会社像】

理想の会社像として多かったものが「人間関係が良好な職場」です。

職場環境＝人間関係と考えている若手社員が多数であり、定着率の向上には職場内のコミュニケーションが欠かせない重要なポイントとなっています。

また、「地域貢献ができる職場」との意見も多く、仕事を通じて地域貢献をしていきたいと考えている社員の方が多数おり、地域貢献により地域から必要とされ、やりがい、働きがい、誇りをもって働ける職場を作りたいと誰もが考えています。

■「人間関係が良好な職場」(主な意見)

- ・上司が後輩の話をしっかり聞いてくれる職場。
- ・役職関係なくコミュニケーションが取れている、元気で明るい挨拶が出来る職場。
- ・正社員・パート問わず全員が同じゴールに向かって仕事をしている、会社が成長し未来が安心できる風通しの良い職場。

■「地域貢献ができる職場」(主な意見)

- ・地域貢献により、お客様から愛され、地域から愛され、誇りをもって働ける職場。
- ・地域に必要とされることにより、やりがい・働きがい・ワクワク感のある職場になると考えています。

◎次いで「職員の待遇が良い職場」

- ・有給休暇が取りやすい。
- ・福利厚生がしっかりしている。
- ・高給、資格取得支援。

【地域の魅力づくり 若者が帰ってきたいと思う地域にするために】

「地域に魅力的な会社・働く先がある事」が最多の意見!!

■「若者が魅力を感じていること」

- ・米、雪（ウィンタースポーツ）、食、豊かな自然、暮らしやすい、挨拶する、人情深いあたたかい地域性、温泉、本気井、地域の団結力の高さ、子育て支援が充実している地域であり魅力を感じる。



2023年度上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4月13日(木)	「全店営業車・総点検」安全運転宣言	
20日(木)	「塩沢建築工業組合総会」(美松) 福原店長	
5月11日(木)	「総代地区会議」(石打地区) 会場:「新林屋」	
15日(月)	「総代地区会議」(津南地区) 会場:「津南町商工会」(ぐるめかん大勝)	
16日(火)	「総代地区会議」(五日町地区) 会場:「わかまつや」	 京都産業大学・理事長講座
18日(木)	「総代地区会議」(小出郷地区) 会場:「梅野屋」	
19日(金)	「総代地区会議」(本店地区) 会場:「みまつ」	
22日(月)	「京都産業大学・理事長講座」	
23日(火)	「塩沢商工会・通常総代会」(塩沢公民館) 出席: 上村監事	
6月2日(金)	「全店ボランティア清掃」6月～9月実施	
3日(土)	「少年野球大会」(大原運動公園)	
22日(木)	「通常総代会」(南魚沼市民会館大ホール)、「未来基金報告会」、「理事会」(3回)、「監事会」(8回)、「特別講演会」(原晋氏)、「総代懇親会」(ホテル坂戸城)	
7月6日(木)	「塩沢中学校・職場体験」受入	 京都産業大学インターンシップ
7日(金)	「地域同期会・第2回」(5地域同時開催)	
10日(月)	「夏期賞与支給日」地域還元型賞与3万円支給	
21日(金)	職員と地域住民が一体となった「防災訓練」「救命救急法講習会」	
8月3日(木)	「スロージョギング体験」(塩沢公民館) *「バスパ・ウェルビーイング、青年部」委員会合同企画	
6日(日)	未来基金「思い出づくり日帰りバスツアー」	 コミュニティビジネス実習
20日(日)	未来基金「地元企業見学ツアー」(初開催)	
28日(月)	「京都産業大学」インターンシップ 8/28～9/1	
9月4日(月)	「コミュニティビジネス実習」新潟青陵大学 9/4～9/5	
4日(月)	「地域防犯訓練」(津南・小出郷) 16:30「特殊詐欺訓練」(警察、住民、職員)	
8日(金)	「社保十日町支部事務研修会」(クロス10)「理事長講演会」	
10日(日)	「南魚沼市中学生海外派遣研修事業」帰国報告会(南魚沼市役所)(小野澤理事長・小林店長)	
19日(火)	「信用組合共催事業“飛鳥Ⅱチャータークルーズ”」当組合「理事長と職員14名」参加 9/19～9/21	
26日(火)	「ピーターパン募金贈呈式」(湯之谷小学校、おおまき小学校、上田小学校へ計30万円贈呈)	



4月13日 全店営業車・総点検



6月3日 少年野球大会



7月21日 防災訓練・救急法講習会

● 地域を応援する取組み

■ 飛鳥Ⅱチャータークルーズ

70周年を記念しまして、9月19日から21日にかけて10信用組合共催事業「飛鳥Ⅱチャータークルーズ」を実施しました。この事業は4年前から他の信用組合の方々と連携して準備を進めて参りました。

1日目は万代太鼓の演奏で見送られ、船内でウェルカムセレモニーが行われ、2日目はオプションツアーに参加し、3日目は函館の人たちから見送られ新潟港に到着しております。500人を超える参加者とともに、3日間のクルーズを楽しみました。

今後も皆様と一緒に地域が元気になるような企画を実施して参ります。



■ ピーターパン募金贈呈式

「ピーターパン募金贈呈式」を開催し、地元の小学校へ贈呈を行いました。贈呈先は、地元の「上田小学校」「おおまき小学校」「湯之谷小学校」です。各小学校の校長先生からは、この募金によりそれぞれ「ラミネート加工機」「移動式のクーラー」「ミスト装置」を購入するなどご挨拶をいただきました。



● 中小企業の経営支援に関する取組み

■ CDP 既存融資取引先、「6カ月先行自己査定」「特殊プロジェクト・準プロジェクト」先の支援

CDPとは、既存融資取引先の全先を対象として行う事業であり、取引先企業の業況悪化防止のため継続してソリューション支援（本業の改善）に取り組む事業です。

赤字体質からの脱却に向けて2023年度は、「事業者支援」で必ず成果を上げることを目的にして取組み、既存融資先のランクダウン防止に努めております。



● 顧客保護に関する取組み

■ 防犯・防災・災害メールの登録推進

魚沼地域内においても特殊詐欺が多様化しており、自然災害も身近なものになってきています。当組合にて年金を受給しているご高齢者に対して、特殊詐欺関連情報や災害情報など、行政や警察署から速やかに情報が受け取れるよう、防犯メールの登録を推奨しております。スマホの操作についても、職員が丁寧に手順をお教えしています。

■ マネーロンダリング対策・サイバーセキュリティ対策・BCP体制強化

お客様からお預かりしている大切な資産を守るため、当組合ではマネーロンダリングに関する体制整備、サイバーセキュリティ対策、BCP（災害時における事業継続計画）体制の強化を図っております。体制整備に関する本部体制の強化や、全職員参加による研修会の実施など、不測の事態に備えた準備を行っております。



● 文化的・社会的貢献に関する活動

■ 地域還元型賞与の支給

当組合では、職員に対して、2011年から「地元商店や宿泊飲食店で利用可能とする」地域還元型賞与を支給しております。全職員が勤務地の商店を利用することとなり、その経済効果は年間3百万円にも及びます。お取引先企業にも推奨しており、地域還元型賞与を支給する企業も増えていきます。

■ 九州信用組合協会、秋田県信用組合にお見舞金

2023年7月に九州地方と秋田県で記録的な大雨による、広範囲にわたる土砂災害や河川の氾濫などが発生しました。これを受けて当組合は、九州信用組合協会と秋田県信用組合にお見舞金を贈りました。

SDGs宣言への取組み

4 質の高い教育を
みんなに



「はばたき奨学生」思い出づくり日帰りバスツアー

～ゆきぐにの未来基金奨学生が地元企業や名所を見学～

このバスツアーは郷土愛を育むとともに『奨学生に親子で忘れられない思い出を作してほしい』という職員の夢から実現したツアーです。奨学生とその家族26名が参加し、企業見学や名所観光をしました。地元企業4社の説明と見学を行ったほか、津南見玉不動尊、アルプの里、魚野の里など観光名所を訪問してきております。



4 質の高い教育を
みんなに



「はばたき奨学金」地元企業見学ツアー

～ゆきぐにの未来基金奨学生が将来の職業選択に地元企業を訪問～

地元企業を知り、将来の職業選択の参考にしてもらうことを目的に、ゆきぐにの未来基金・奨学生、卒業生を対象に地元企業見学ツアーを実施しました。6社の企業を訪問し、社長の体験談や説明を受け、企業の活動内容を見学しました。



8 働きがいも
経済成長も



フューチャーデザインセッション

～「2053年への挑戦」100年信組実現のために～

「フューチャーデザイン」とは、将来世代は現在の政策決定に意思を反映できないという問題意識に立ち、将来可能性を発揮できる当組合の仕組みをデザインすることです。

現在世代グループと仮想将来世代グループを半々に構成し、将来世代は、今現在のことなく、将来（30年後の2053年から来た）未来人になりきり、未来人と現代人が共通のテーマで将来可能性を話し合いました。



2023 DISCLOSURE

The first half of the year

2023年度上半期 業績のご報告



ゆきぐに信用組合



本部しんくみセンター

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4
TEL (025) 782-1201(代) FAX (025) 782-4063
ホームページ <https://www.yukiguni.shinkumi.jp/>
メールアドレス shinkumi@pluto.plala.or.jp

本店

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198

TEL (025) 782-1151(代)

石打支店

〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1

TEL (025) 783-2962(代)

五日町支店

〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1

TEL (025) 776-2691(代)

津南支店

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3

TEL (025) 765-3125(代)

小出郷支店

〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15

TEL (025) 792-7766(代)